

◆概要 被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第1回

●ジェイール東日本コンサルタンツ（株）から小水力発電装置が提案されました



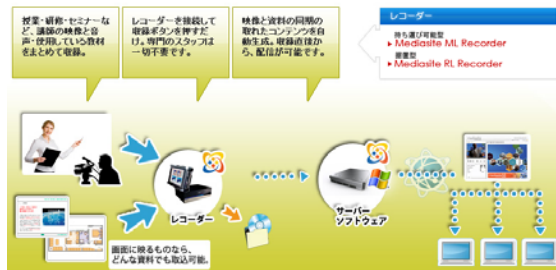
●（株）アンラボからPCセキュリティ製品が提案されました



●リモーターズ（株）から電動が提案されました



●メディアサイト（株）から映像の収録やオンデマンドで利用可能なプラットフォームが提案されました



●フューチャーグロー（株）からトイレドームが提案されました



●NPO法人N・S・Cから、移動可能で30年利用可能な仮設住宅が提案されました



●（株）アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョーから機能しない公共施設のサインのインフラ整備が提案されました



その他の提案

- 株式会社レイベイトマコンサルティング『低温磁気分解炉』 ●東日観光株式会社『震災モニュメント』
- 株式会社ジューターテレコム『無線・有線・放送のインフラ技術、チャンネル番組』 ●NPO法人国際支援交流協会『雇用問題等を含めた、支援する側・される側共に幸福となるような活動』 ●株式会社NTTファシリティーズ『スマートグリッド・スマートシティ』『EV充電スタンド』
- 『六次産業等の遠隔モニタリング』『マイログリッド』および、その他電力関係のシステムインテグレート ●NR JAPAN株式会社『新しい原子燃料』
- 『日本再生ビジョン』

聴講者

DOWAエシシステム株式会社、株式会社FMS総合研究所、NR JAPAN株式会社、株式会社アトリエ・天工人、株式会社アトリエ・ベロラン、岩手県、株式会社インボイス、株式会社NTTファシリティーズ、株式会社ルルル、慶応大学、ジェイール東日本コンサルタンツ、首都大学東京、石膏再生協同組合、株式会社宣伝倶楽部、中小企業・地域シェアサービス株式会社、筑波都市整備株式会社、凸版印刷株式会社、一般社団法人日本安全促進協会、日本テレビ株式会社、一般社団法人ニューメディア開発協会、NEXCO東日本、日立電線ネットワーク株式会社、株式会社フジヤ、ホジション株式会社、みずほ情報総研株式会社、メディアサイト株式会社

◆概要 被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第2回

- 大日本スクリーン製造（株）から洗浄装置、スキャナ、瓦専用インクジェットが提案されました



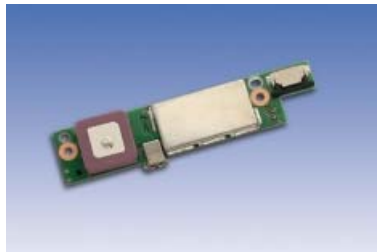
- キャンパリング*ゲーミング学会から日本へのIR誘致が提案されました



- （株）電通国際情報サービスからSPIGITを利用したコミュニティサイトが提案されました



- ホジソン（株）からGPSインテグレーションを利用した放射線の測定装置が提案されました



- NEXCO東日本から東北自動車道パーキングエリアの活用が提案されました



その他の提案

- ジェイアール東日本コンサルタンツ（株）『緑化技術』『低温磁気分解炉』 ●NPO法人N・C・S『移動可能で30年暮らせる仮設住宅』 ●株式会社雅『ファンド形成』『リスクヘッジ』
- （社）中央政策研究所『物資支援等3つの復興活動』 ●（株）レイハイゼンコンサルティング『低温磁気分解炉』『韓国製ディーゼル発電機、住宅』『北海道長万部の活用』
- フューチャー・グロー（株）『ドームハウス』 ●WIN WIN JAPAN『Candle Fund財団法人設立で北海道えりも町移住計画』 ●（株）ウエルウエスト『食における現地と受け入れ先のマッチング』 ●（財）都市農山漁村交流活性化機構『都市と農村漁村をワストップで結ぶ機能として都内販売、直販サミット』 ●日本工業新聞社『未来塾』『シンボジウム』
- 『LED促進』『街づくり』『途上国の為の展示会』 ●（株）B.b.design『避難者と病院間の映像伝送システム技術』 ●大和ハウス工業（株）『コミュニティ形成における支援』
- （株）インボイスコンサルティング『セキュリティシステム』『高速道路情報システム』 ●日本安全促進協会『マルチエリアに対するネットワークセキュリティ技術』 ●東日観光（株）『ソフト面での支援及び企業活動と旅行業全体の結びつけ』 ●CCG21協議会『ワシタの活用』

聴講者


有限会社Y&Y、NTTインテリジェント企画開発株式会社、健康・教育・スポーツ総合政策研究会、光昭株式会社、NPO法人国連支援交流協会、東日観光株式会社、株式会社都市研究、株式会社バィオ・ルネサンス、株式会社不動産鑑定ブレイズ株式会社、和島商業都市研究所

◆概要 被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第2回


- 福島工業（株）から『節電提案』『食材冷蔵庫支援』『放射能を除去する浄水器』『デジタルシ』が提案されました

業務用冷凍冷蔵庫

高効率インバーター制御冷蔵庫 IRシリーズ



●従来機種と比較して年間電気代・CO₂排出量半分に！



- （株）ぐるなびから『フ・ロモーション・満足度支援』『自治体の食に関する施策・フ・ロモーション支援』が提案されました



東日本大震災 被災地応援店

- 大阪ガス（株）から『ガスのスチームコンベクションシステム開発』が提案されました



- EV安全協会から『被災した車をEV化する研究』『ソリューションを利用した充電・蓄電技術』『緊急地震速報システム』が提案されました



- （財）関西情報・産業活性化センターから『関西でも同趣旨の復興支援会議』を開催しているという報告がありました

東日本大震災復興支援 異分野連携プロジェクト

関西発・災害復興ICTイノベーションミーティング

主催：(財)関西情報・産業活性化センター KIIS (株)新産業文化創造研究所 ICIC

第2回 2011.6. 8(wed) 15:00~19:00 於：KIIS第1会議室

- （株）大広から、震災復興支援フェアが提案されました



その他の提案

- （株）ホームシステム『横との連携を図りながら食材等供給の良い体制作りの提言』
- （株）グローバルフーズ『研究機関が開発した根拠あるメニューのデジタル化とインターネット配信』
- メディアサイト（株）『様々な意見、事実を記憶する知の集積の場としてのポータルサイトの作成を支持』
- （株）電通国際情報サービス『SPiGIT』
- （株）メボスクリーン『被災地近郊の商品の放射線汚染を検査し、シールで検証するビジネス』
- 株式会社FIMIS総合研究所『被災地の食産業の振興活性化』
- 株式会社博報堂『復興の為に国際博覧会を広域に長期間開催すること』
- 株式会社大広『9月に開催予定の中小企業を支援する復興フェアへの協力依頼』
- アトリエ・ロン『移動可能で30年暮らせる『仮設住宅』の提案と被災地ネットワーク構築を提言』
- NEXCO東日本『堆肥化・チップ化した高速道路脇の草木を利用した『バイオマス実証実験』を紹介』
- ジェイアール東日本コンカクタ『流水式小水力発電装置』
- 大阪ガス株式会社『ガスのスチームコンベクションシステム開発』
- 財団法人都市農山漁村交流活性化機構『被災地地方販売による直接支援活動の紹介』

聴講者

株式会社DBC、株式会社青山キババルブ、株式会社7th・エンジニアーズ・オブ・トキョー、株式会社インボイス、株式会社ウルクエスト、株式会社ルナ、株式会社スマートウイル、大和ハウス工業株式会社、株式会社丹靑社、東日観光株式会社、日本工業新聞社、日本ハナユーズ株式会社、株式会社日本農業新聞、一般財団法人ニューメディア開発協会、日立電線株式会社、富士ソフト株式会社、株式会社不動産鑑定ブレインズ、フューチャー・グローバル株式会社、ボジション株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、株式会社雅、ルビコン・クロス有限会社、株式会社レイハイゼマコンサルティング

◆概要

復興支援分野連携プロジェクト会議の分科会「ICT（イノベーション）復興支援部会」の中のポータルサイトプロジェクト会議として開催。被災地のニーズをしっかりと支援できるSNSとしてSPIGITの提案、サイトの盛り上げのためのソーシャルメディアやブロガーの活用、他のニッチな復興支援サイトとの連動（建築関連復興サイト）、大学などの多くの研究発表の一元化、英語対応などが話題となる。今後の課題としては、コンテンツばかりでなく、初期構築費用、運営費用、運営部隊等の検討がある。これらは次回以降、更に深く絞ったテーマごとの会議を行う予定。またポータルサイトとしては、「復興」ばかりでなく「復旧」面にも対応しうるサイトとして検討

- メディアサイト（株）から『多くの参加者を募り、情報収集・情報交換が出来るサイトの構築』『動画+データを高品質な形で提供できるツールやメタデータ検索方式の検討』が提案されました

- （株）電通国際情報サービスからSPIGITを利用したコミュニティサイトが提案されました



その他の提案

- 株式会社ライトアップ『twitterやFacebook、ブログ等のソーシャルメディアを活用した集客支援』
- 株式会社博報堂DYインターソリューションズ『WEB・インタラクティブを軸としたビジネスマッチングを考える』

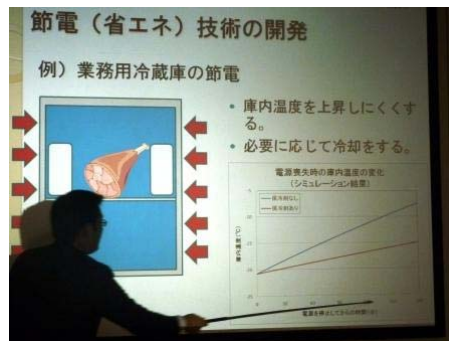
聴講者

ライフアンドシェルター社（建築事務所）、富士ソフト、一般財団法人ニューメディア、コヨファニチャー株式会社、株式会社ブリックススタジオ（出版）、株式会社雅、株式会社大広、株式会社アド・エン지니어ズ・トーキョー、アトリエ・天工人

◆概要

今夏に予定されている計画停電や15%節電に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための研究会の第1回。保冷剤を用いた節電ソリューションをテーマに開催。冷凍冷蔵設備を有する業界からの特需が起きている保冷剤を、「冷やす」という視点ではなく「温度上昇を遅らせる」「人が快適と感じる温度を一定時間保つ」など様々な視点からコラボレーション可能な業界・業種があるかどうかを意見交換

- 山梨大学鳥山助教授から『店舗、レストラン等業務用冷蔵庫節電ソリューションの創出』が提案されました



- (株)ラックスンから『保冷剤を用いた節電ソリューション』が提案されました

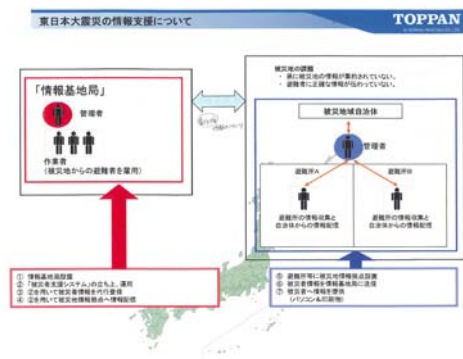


聴講者

株式会社セットインターナショナル、株式会社you2

◆概要 関西発、被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第1回

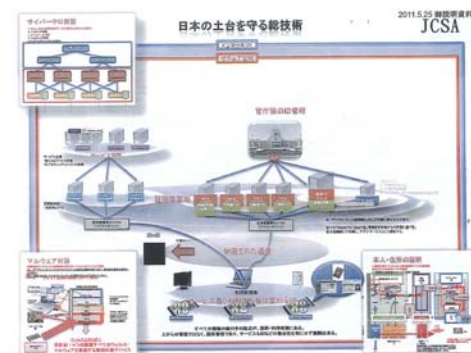
- 凸版印刷（株）から『情報支援システム』が提言されました



- （特）スマートビューから『連絡ネットワークシステム』が提案されました



- （一社）日本通信安全促進協会から『マルチメディアセキュリティシステム』が提案されました



その他の提案

- （株）グローバルワード『調理支援システム G-クッキングシステム』
- （株）電通国際情報サービス『SPIGIT』
- ウエストユニティ（株）『被災地に放射能測定器ウェアラブル・ガイガーカウンターを配布する為の資金調達』
- （株）島津ビジネスシステム『気象情報・防災情報提供事業』

聴講者

ウィア・エンジニアリング株式会社、株式会社三社電機製作所、兵庫県立大学、株式会社近畿大阪銀行、株式会社フジヤ、住友商事株式会社、シブヘルスケアホールディングス株式会社、大阪ガス株式会社、福島県大阪事務所、住友商事マネックス株式会社、岩手県、テックハリウッド大学院、株式会社アルカ、スキルインフォメーション株式会社、株式会社ジューターテレコム、大日本スクリーン製造株式会社、大阪市、小浜工業株式会社、Venture Business Support Office、宮城県、一般財団法人ニューメディア開発協会、株式会社アイシステム、メディアサイト株式会社、グリーンホスピタル株式会社、大阪市立大学、不二電気工事株式会社、株式会社構造計画研究所、濱田プレス工業株式会社、株式会社イホイス

地域食材価値創造研究会被災地域農畜水産物、加工食品等の価値創造 ～集荷集配と購入支援、農商工及び医食農連携、6次産業化を目指して～（第1回の復興支援部会）

平成23年5月27日開催 参加者16名

◆概要

復興支援異分野連携プロジェクト外会議の中の「食」をテーマとした研究部会。被災地域の農業や畜産、水産業の復興を産学官連携、異業種連携などによる新連携、農商工連携をはかり、これまでになかった新産業、新たなソリューションなどを検討

- 清水建設（株）から『植物工場の生産でも付加価値の重要性』が提言されました



- （特）青果物健康推進協会から『ベジフルティーチャーを通し全国に食育、健康促進活動』が提案されました

EAT FOR
NIPPON
国産を食べよう！

- 弊社廣常から『商農工連携による新しいソリューションの創出』が提案されました



参加者

ECO CAFE KUNIYOSHI、株式会社アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー、株式会社ウルクエスト、清水建設株式会社、特定非営利活動法人青果物健康推進協会、社団法人日本広告制作協会、ポジション株式会社、株式会社雅、八基通商株式会社、株式会社共同通信社、NEXCO東日本

敬称略

第1回 花と緑の街づくりによる復興構想会議 「グリーン産業リユース&国際復興花博構想」

平成23年5月30日開催 参加者6名

◆概要
復興支援のための異分野連携プロジェクトから発生した分科会として1回目の開催。現在、被災地域の街の復旧計画が進んでいる中、道路や橋、仮設住宅などの計画に「花や緑」の計画は緊急を要さないために取り残されている。復旧計画に並行して、環境豊かな発展的復興のための街づくりや産業創出を花と緑をテーマに検討する会議を開催。

●弊社廣常から『国際博覧会構想案』が提案されました



参加者
株式会社NTTファシリティーズ、ひたち公園管理センター、フューチャー・グロー株式会社、株式会社マツシ

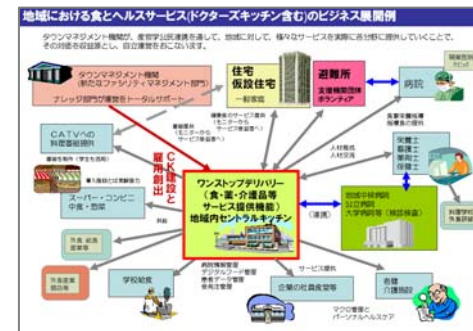
敬称略

◆概要 被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第4回。今回の話し合いの特徴としては、どの話し合いも海外へ目を向けたものであったことである。海外において支援を行いたくても、何を支援してよいか分からないのが現状である。一方で、国際競争力が低下している現在、日本からもグローバルを意識した復興が必要であり、その事は被災者の心の支えやモチベーションへもつながる。海外へ発信するという意味でポータルサイトにおいて復興支援異分野連携プロジェクトの活動を可視化することは重要である。

- (株) 博報堂からカジノ誘致に関する提案がありました



- 弊社廣常から『食とヘルスサービスのビジネスモデル』に関する提案がありました



その他の提案
 ●大日本印刷 (株) 『日本の子供達の未来のために出来ることとして、子供たちの作品を海外に発信していく』『被災地の情報を海外へ映像配信していくことによって、文化、国民性を知る機会をつくる』

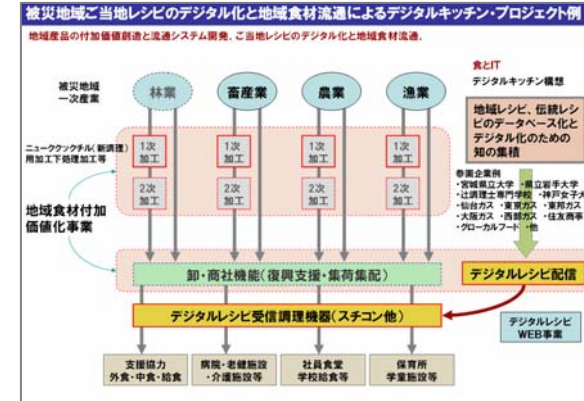
参加者
 NPO法人国連支援交流協会、株式会社ジューターテレコム、日清医療食品株式会社、一般財団法人ニューメディア開発協会、NEXCO東日本、有限会社ビューティニーズ、株式会社フジヤ、ホジション株式会社、株式会社ロング・パートナーズ

敬称略

◆概要 復興支援異分野連携プロジェクト会議の中の「食」をテーマとした研究部会。被災地域の農業や畜産、水産業の復興を産学官連携、異業種連携などによる新連携、農工商連携をはかり、これまでになかった新産業、新たなソリューションなどを検討。今回の分科会では、地域共同セントラルキッチンを主なテーマとして話し合った。

◆ディスカッションでの提案

- 配給数量が全量確保できるときのみにはしか食材を流通させないため、給食施設はあっても、実際に食材がない
- 既存セントラルキッチンを活用し、ネットワーク化することも可能
- セントラルキッチンを必要としているか、現場のニーズを把握することが大切
- セントラルキッチンは衛生管理が大切
- 地元に対して、プロジェクトを通してどのような支援ができるかを提案することが必要
- 長野県飯田市が行っているおひさまファントなどが参考になる
- 外部アドバイザーを持つことにより、衛生管理等効率的なオペレーションを行うことが出来るようになる



参加者
 株式会社FMS総合研究所、株式会社朝日新聞社、株式会社ア・エッジ・アース・オブ・トキョー、株式会社カワウエスト、オリックス株式会社、株式会社グローバルフード、株式会社セブン・化プラン・ジャパン、一般社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ、株式会社日本農業新聞、株式会社博報堂、福島工業株式会社、株式会社エイル、ミナ電子部品株式会社、株式会社雅、有限会社ビューティーニース

敬称略

◆概要 関西発、開催する、被災地の発展的復興に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための会議の第2回

- インターナップ・ジャパン(株)から『高品質のインターネット接続サービス』が提言されました



- (特)NTTドコモから『防災ソリューション』が提案されました



- 神鋼リサーチから『Twitter活用情報提供サービス』が提案されました

ご提案

Twitter活用情報提供サービスのご提案
まさにそのとき、その人へ

神鋼リサーチ株式会社

その他の提案

- ウイアー・エン지니어リング(株)『健康預かり相談室』
- 大日本スクリーン製造(株)『洗浄装置』
- dybinc超光合成変換研究所『最適化された風力発電』
- スキルインフォメーション(株)『医療・介護向けeラーニング』『がん登録と地域医療ネットワーク構築』

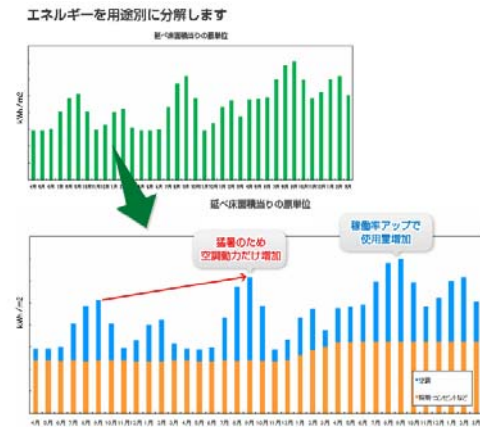
聴講者

17M&Bk部式会社、脳科学香料(株)、NECシステムテクノロジー(株)、大和ハウス工業(株)、ウイタル・インフォメーション(株)、和歌山県、関西電力

敬称略

◆概要 節電技術や製品の確立、節電のビジネスモデル開発などのイノベーションと節電を実施する企業などの対策研究を実施する研究会の第1回

- （株）ファーストエスコからトータルの節電対策が提案されました



- （株）洲和からLEDによる節電対策が提案されました



参加者

株式会社you2、株式会社イワット、NTTインテリジ ント企画開発株式会社、川澄化学工業株式会社、日立ファシリティ・ソリューション、株式会社、東電池株式会社、株式会社レイハイト マーケティング

敬称略

◆概要 被災地域の医療体制や住民の健康管理などを今後の地域モデルとして、震災前の医療健康に係わる課題をも解決をする復興策を検討する部会の第1回

- スキルインフォメーションズ（株）から『医療・介護向けeラーニング』『がん登録と地域医療ネットワーク構築』が提案されました



- 日本笑いヨガ協会から『笑いヨガ』による被災地の健康維持・向上が提案されました



- （株）リスマサメントから『生命保険業による被災者・被災地への便宜』が提案されました



- 日本笑いヨガ協会から『笑いヨガ』による被災地の健康維持・向上が提案されました



聴講者
株式会社フロンティア・ジャパン、一般社団法人全国社会保険協会連合会、株式会社東芝、株式会社eヘルスケア、株式会社アトランド、首都大学東京産業技術大学院大学、大和ハウス工業株式会社、東日観光株式会社、東洋医学研究所、日清医療食品株式会社、株式会社ネットクリエイティブ、富士ソフト株式会社、ホジソン株式会社、株式会社雅、株式会社マルチビュン

停電・節電ソリューション開発研究会 大型設備施設を要せず7月から可能な計画停電・15%削減に対応する課題解決策（ソリューション）と対応製品・対応ビジネスの研究③「省エネロボ」

平成23年6月13日開催 参加者18名

◆概要 今夏に予定されている計画停電や15%節電に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための研究会の第3回
講師：日立電線株式会社 産業インフラ事業本部 電力エネルギー事業部 主管技師 田代宗二氏

●田代氏から『節電味による空調の節電』が提案されました

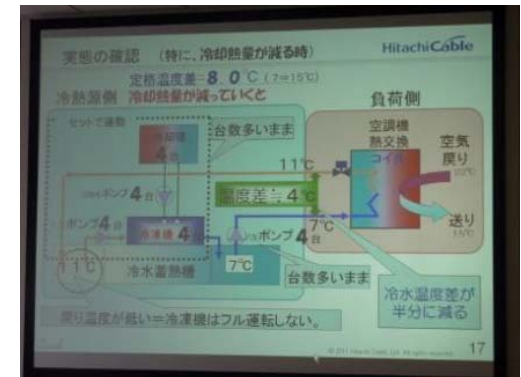


Hitachi Cable
HITACHI

人と「省エネロボット」の協業

空調用 大型冷熱源の
「冷却温度保障、最高効率化制御」の開発
による省エネの自社施設事例をもとに

2011年6月13日
日立電線株式会社
産業インフラ事業本部
省エネ技術管掌 主管技師
田代 完二



参加者

有限会社PIP、株式会社you2、NTTインテリジェント企画開発株式会社、キャンピング*ケ-ミング学会、光沼株式会社、新興電気株式会社、株式会社セイゴアドバンス、株式会社日光商会、日本ファシリティ・ソリューション株式会社、株式会社ネットクリエイト、ホ-ジション株式会社、ユ-テック株式会社、株式会社ラックス

敬称略

緑の街づくり部会 第2回花と緑の街づくりによる復興構想会議 「グリーン産業ソリューション&国際復興花博構想」

平成23年6月13日開催 参加者13名

◆概要

復興支援のための異分野連携プロジェクトから発生した分科会として2回目の開催。現在、被災地域の街の復旧計画が進んでいる中、道路や橋、仮設住宅などの計画に「花や緑」の計画は緊急を要さないために取り残されている。どのような流れ、どのような手法で復興博覧会を開催するかについて議論した。

●弊社廣常から『国際博覧会構想案』が提案されました



参加者

株式会社風憩ヒロ、株式会社大広、株式会社テューインタープライズ、株式会社日本農業新聞、株式会社博報堂、ひたち公園管理センター、株式会社フジヤ、株式会社マツコ、株式会社ものがたり創造研究所

敬称略

「街づくり部会」「I初級」部会「EV部会」 IoT初級-技術、地域I初級-事業会社、EV等次世代ビ-クル技術を活用した街づくりによる 復興支援異分野連携会議

平成23年6月24日開催 参加者36名

◆概要 「街づくり部会」「エネルギー部会」「交通・乗物部会」の第1回。今回のワークショップでは、スマートグリッド・スマートシティといった理想的に描かれた街のエネルギーと交通システム、その制御機能やライフスタイルを東日本大震災後のまちづくりのプロトタイプモデルとすべく、その可能性や組合せの拡大性、課題や規制などについて議論。

●(株) 風懸エコーから『太陽光発電による地産地消』が提案されました



●ジャパン・トウエンティワン(株)から『自動運転支援システムを利用した省エネ』が提案されました



●(株) 巴工務店から『仮設住宅を木造でつくり、自然素材-を積極的に取り入れる街づくり』が提案されました



●ケイウェア-ジャパン(株)から『ソーラ-バッグや電気自動車でのIoTの創造』が提案されました



●弊社廣常から『次世代ビ-クル(EV他)地の拠点をプラットフォームとした産業創出』が提案されました



その他の提案
 ●ジェイアル東日本コンサルタンツ株式会社『小水力発電による事業』 ●一般社団法人EV安全協会『復興支援におけるEV自動車の可能性』

その他の参加者
 CQ出版株式会社、New Media Technology、株式会社風懸エコー、株式会社五知創、株式会社キ-マンス・キャビ-ル、神鋼リ-子株式会社、シ-フォニアテクノロジー-株式会社、株式会社セ-ットインターナショナル、大日本印刷株式会社、非営利組織日本ス-ラベ-イニシアティブ、日本テレネット株式会社、株式会社ネットクリエイト、株式会社日立製作所、日立電線株式会社、株式会社不二-不二工機製造株式会社、富士電機株式会社、ベ-タープレイス-ジャパン株式会社、ポジ-ション株式会社、明電商事株式会社、メディアサイト株式会社、株式会社モ-ターマガジン社

敬称略

「被災地域別支援連携会議」

復興支援異分野連携プロジェクト「被災地域支援連携会議」仙台の被災産業・企業の現状と被災地ニーズ

平成23年7月4日開催 参加者41名

◆概要 復興支援異分野連携プロジェクトにおける被災地サイドの現状報告会議。第一回目は仙台市よりプレゼンテーションをしていただいた。これまで復興支援のための支援シーズ側として、各企業や大学、研究機関やNPO、業界団体などから各種提言提案、製品やサービス、アイデア等を出していただいていた。今後、被災地のペアを組みながらしっかりと支援を行っていくため、被災地側のニーズ、ウォンツを把握するのが今回の目的。

- （財）仙台市産業振興事業団から『合同相談窓口』『企業家マインドセミナー』『新商品開発支援及び販路商会』が提案されました



- ウイアー・エンジニアリング（株）から『医療+』が提案されました



その他の提案

- （株）FMS総合研究所 『水産業では復興特区の活用』『漁業の付加価値化（HACCP、六次産業化等）』『被災農家経営再開支援事業開始や農業の付加価値化』

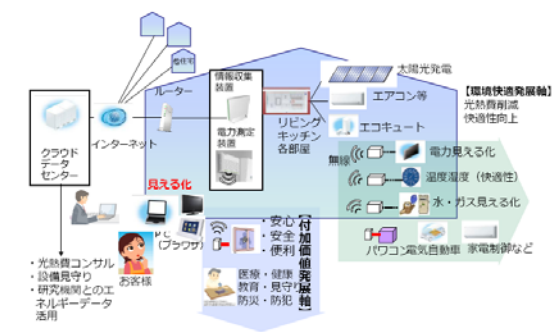
参加者

株式会社DNPヒューマンサービス、株式会社ルナ、鹿島建設株式会社、株式会社角川プロダクション、株式会社ギンガシステムソリューションズ、株式会社グローバルフォート、ジェイール東日本コンサルタンツ株式会社、シフオアテクノロジー株式会社、株式会社スマートバリュー、筑波都市整備株式会社、株式会社電通国際情報サービス、株式会社電通テック、東日観光株式会社、一般財団法人ニューメディア、NEXCO東日本、株式会社ネットクワイ、脳科学香料株式会社、株式会社バースジャパン、有限会社ハイフューチャー、日立電線株式会社、株式会社風憩ヒロコ、株式会社アールフォー、フェリホネットマーケティング株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社雅、株式会社リスクマネジメント、株式会社和島商業都市研究所、株式会社丹青社、知能技術株式会社

敬称略

◆概要 今夏に予定されている計画停電や15%節電に対して、研究シーズや技術シーズとニーズのマッチングを行い、ソリューションを提案、実行に移すための研究会の第4回
講師：東京大学 生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター 岩船由美子准教授

●岩船准教授から『緊急節電の具体策』『HEMSの将来像』が提案されました



聴講者
株式会社三菱総合研究所、株式会社ER1ソリューション、株式会社インテック、NTTインテリジ'メント企画開発株式会社